

● 最近の県内経済

基調判断

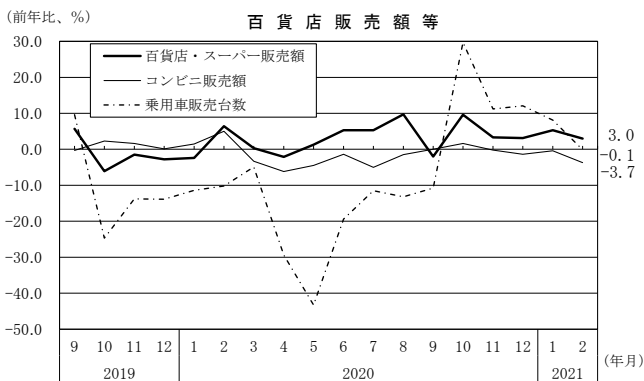
(2021年2月を中心として)



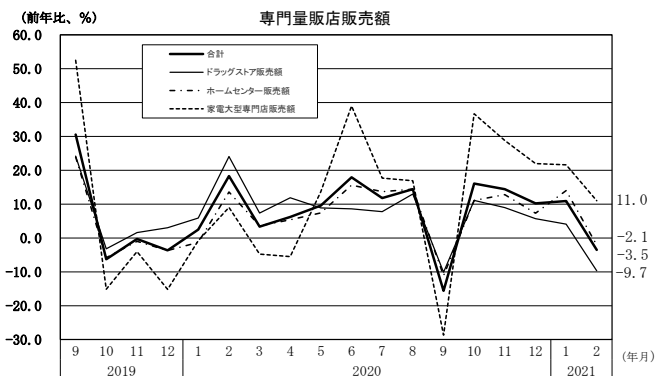
今月の概要

県内景気は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響から、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

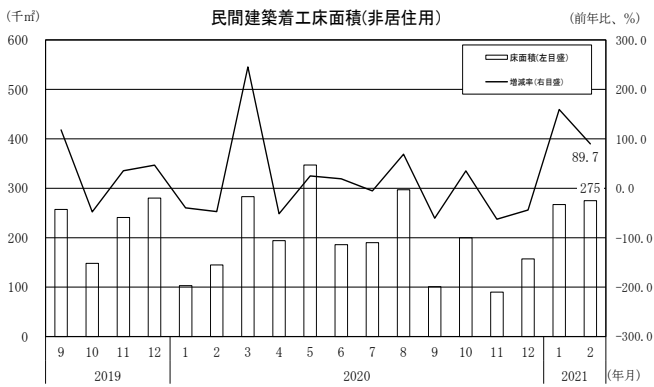
2月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,011億円で前年比3.0%増となった。百貨店は同0.9%増で4か月ぶりの増加、スーパーは同2.5%増で13か月連続の増加となった。一方、コンビニ販売は473億円で同3.7%減と、4か月連続の減少となった。

乗用車販売は、前年比0.1%減と5か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車（同4.2%増）、軽乗用車（同4.8%増）は増加したものの、小型車（同10.7%減）は4か月連続の減少となった。

2月の専門量販店販売額は、664億円で前年比3.5%減となった。内訳をみると、家電大型専門店が164億円で同11.0%増となった。一方、ドラッグストアが346億円で同9.7%減、ホームセンターが155億円で同2.1%減と、ともに5か月ぶりの減少となった。

関東の消費者態度指数（原数値）は、1月〈29.6〉、2月〈33.4〉、3月〈35.7〉で推移している。

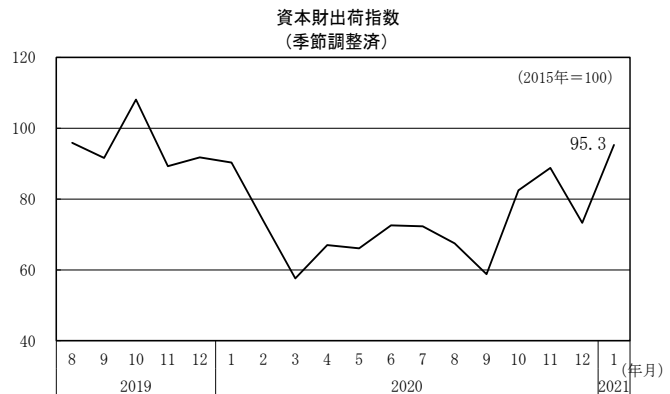
2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



(資料)国土交通省

2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、275千㎡で前年比89.7%増となった(5か月後方移動平均では前年比7.9%増)。

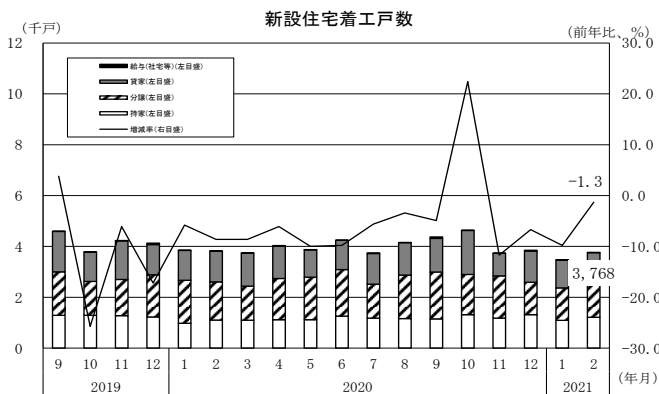
用途別にみると、病院・診療所は減少したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫はいずれも増加した。



(資料)埼玉県

1月の資本財出荷指数(季節調整済)は、95.3で前月比30.0%の増加となった(2か月ぶりの増加)。

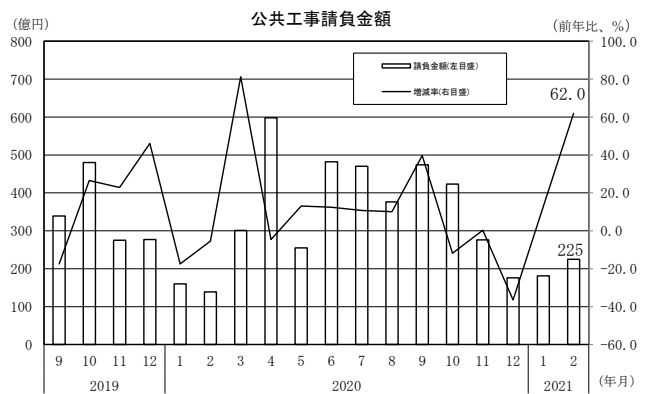
3 住宅建設 下げ止まっている



(資料)国土交通省

2月の新設住宅着工戸数は、3,768戸で前年比1.3%減と4か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では、1.8%減)。利用関係別にみると、持家(1,214戸)が同9.8%増、貸家(1,241戸)が同2.5%増となった。一方、分譲マンション(188戸)が同47.6%減、分譲一戸建(1,103戸)が同3.2%減となった。

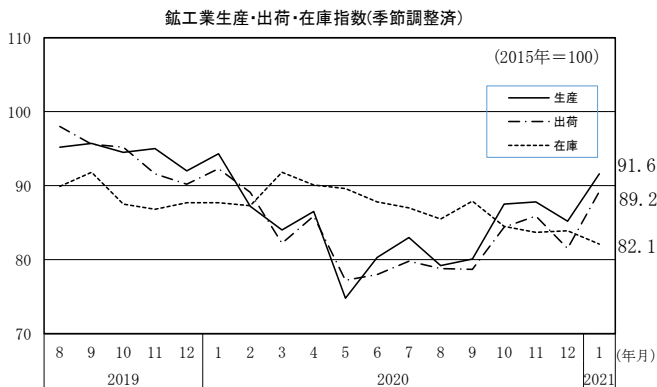
4 公共工事 増加基調



(資料)東日本建設業保証株式会社

2月の公共工事請負額は、225億円で前年比62.0%増となった(5か月後方移動平均では前年比3.8%減)。発注者別で見ると、市区町村は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県のいずれも増加した。

5 生産活動 持ち直している

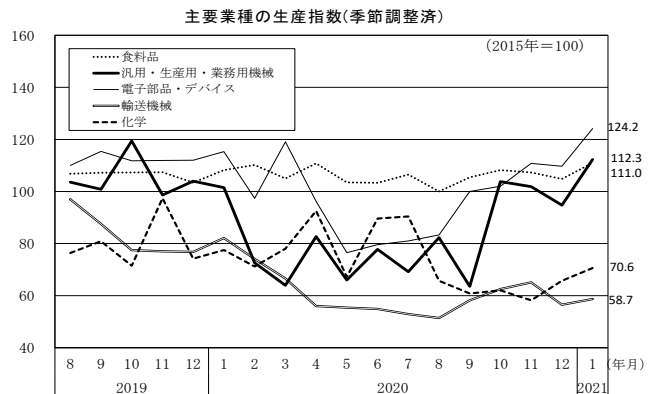


(資料)埼玉県

1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、91.6で前月比7.5%上昇(2か月ぶりの上昇)。繊維工業(織物製繊維製品(外衣))、皮革製品(革靴、製革)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、汎用機械(空気圧機器、エレベータ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、89.2で同9.4%上昇(2か月ぶりの上昇)。繊維工業(織物製繊維製品(外衣))、皮革製品(革靴、製革)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、汎用機械(空気圧機器、エレベータ)などが上昇した。

在庫指数(同)は、82.1で同2.1%低下した(2か月ぶりの低下)。窯業・土石製品(セメント、ガラス製容器類)、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)などが上昇したが、輸送機械(普通トラック、乗用車)、生産用機械(マシニングセンタ、研削盤)などが低下した。



(資料)埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、111.0で前月比5.9%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

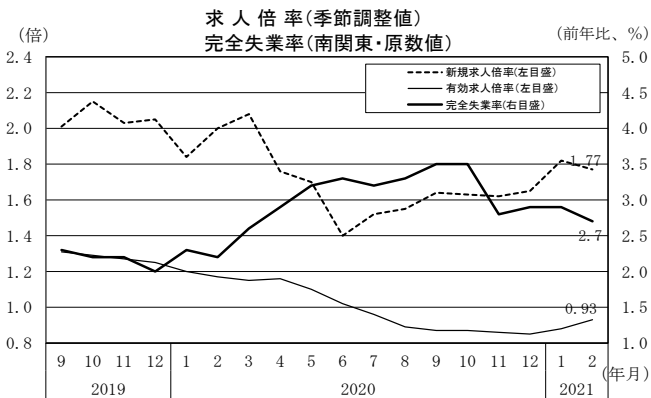
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、112.3で同18.5%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は124.2で同13.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、58.7で同3.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 化学(同)は、70.6で同7.5%上昇し、2か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 弱い動き

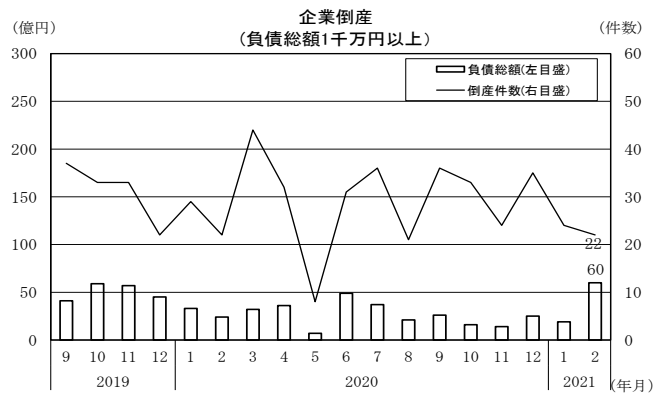


(資料)厚生労働省、総務省

2月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.93倍で前月比0.05ポイント上昇(2か月連続の上昇)となったものの、依然として8か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.77倍で同比0.05ポイント低下(3か月ぶりの低下)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.5ポイント上昇した。(前年同月比13か月連続の上昇)

7 企業倒産 一進一退



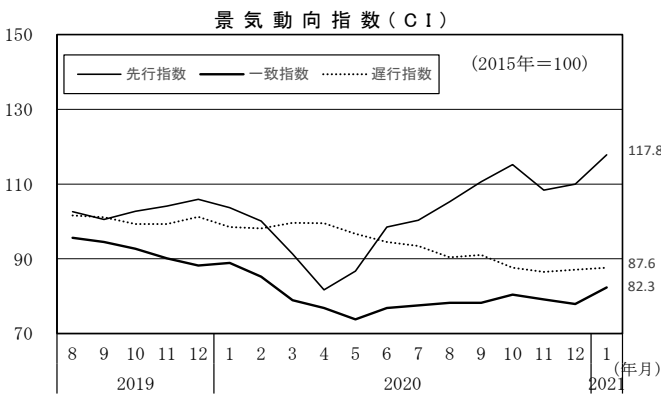
(資料)帝国データバンク

2月の企業倒産件数は、22件で前年同月と同数となった。負債総額は60億円で同36億円の増加となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比0.7%減、金額は38.5%減)。

業種別にみると、建設業とサービスが6件で最も多く、製造業と小売業がそれぞれ3件で続いている。主因別では、販売不振が19件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 上昇への局面変化を示している



(資料)埼玉県

1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、82.3で前月比4.4ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、117.8で同7.8ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.6で同0.5ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。